

令和2年度事業報告

(期間:令和2年4月1日～令和3年3月31日)

事業概況

ひとの健やかでこころ豊かな未来を実現するために、健全な食生活と予防医学に重点をおいた研究、さらに自然との共生を基本に、こころの健康を目指した研究を振興し、もって国民の健康増進と生活の質の向上に寄与する。

公益事業として

公1) ひとの健やかでこころ豊かな未来を実現するための**研究調査事業**

公2) ひとの健やかでこころ豊かな未来を実現するための研究に関する**助成事業**を実施した。

(事業の内容)

定款の第4条における1、2、3についてはいずれも研究調査事業の具体的内容であり、事業としては1つと考えているため、公1にまとめている。

令和2年度(2020年度)の活動実績の概要は以下の通り。

1. ひとの健やかでこころ豊かな未来を実現するための研究調査事業(公1)

(1)「ひと・健康・未来」の研究調査事業

ひとの健やかで心豊かな未来を実現するために、文科と理科の壁を取り払い知のフロンティアとして実施している。この事業は不特定多数の者の利益の増進に寄与することを目的としており、当財団役員が中心的な役割を果たし、その結果を公表している。

(1)－①研究会の推進(未来研究会の開催)

財団役員を含む科学者と外部の知の交流として、当財団役員の企画により実施している。令和2年度は第44回と第45回の2回は開催し、第46回と第47回は、新型コロナウイルスの感染予防のため次年度に開催を延期した。特別企画として、座談会を開催した。日程、講師、テーマは以下の通り。

●第44回 未来研究会

日 程:令和2年9月25日(金)

講 師:阿部 健一(総合地球環境学研究所 教授)

テーマ:「地球環境問題のあらたな位相:SDGsとSARS-CoV-2」

地球環境問題の解決に資する学問を目指す「地球環境学」がSDGsおよびコロナ禍をどうとらえているのか。グローバルなヴァナキュラリズムという未熟な概念に託して説明。

●第45回 未来研究会

日 程:令和2年11月9日(月)

講 師:中沢 孝(宇宙航空研究開発機構 社友/客員)

テーマ:「宇宙飛行士と宇宙食と災害時の食と」

世界の宇宙食の歴史を振り返ると共に、宇宙食と類似点の多い災害時の食にどのように役に立つのかを考える。

●第46回 未来研究会

日 程:令和2年12月4日(金)

講 師:倉恒 弘彦(株式会社FMCC 代表取締役)

テーマ:「疲労研究の最新の動向」

日本における疲労の実態を紹介するとともに、最近明らかになってきたいくつかの客観的な疲労評価法や疲労に陥るメカニズムについて説明。コロナの影響で開催を延期した。

●第47回 未来研究会

日 程:令和3年2月18日(木)

講 師:花村 周寛(大阪府立大学 准教授)

テーマ:「まなざしのデザイン」

昨今ますます閉塞する社会状況に対応するため、私たちは新しい角度から眺めることが求められているが、年を追うごとに私たちの視点は閉塞している。なぜ私たちはモノの見方が変わらないのか。そしてどうすれば私たちのモノの見方を変えることができるのか。本講演ではそのような見方の変革について考える。コロナの影響で開催を延期した。

●未来研究会 特別企画 座談会

日 程:令和3年3月12日(金)

参加者:財団役員/塩田理事長、中井理事、山極理事、畠中理事、明和理事

テーマ:「コロナ後の世界を生きるための手がかりを求めて」

コロナ禍が人間や社会のあり方にどのような影響を与えているかを、自由に意見交換をすることで、コロナ後の世界を生きるための手がかりを得ようとする座談会。

(1)－②市民公開講座の開催

研究の成果をまとめ、市民公開講座「ひと・健康・未来シンポジウム」を開催し、公衆への啓蒙活動としている。開催については当財団役員を含む専門家が関与し、企画から運営にあたっている。参加は自由であり、参加費は無料。令和2年度はコロナの感染拡大防止のため、開催せず延期した。次年度以降の新しい開催方法について検討を進める。

(1)－③成果の公開と出版活動

市民公開講座、未来研究会の成果をより多くの人々に周知する為に令和2年度は3回、機関誌「ひと・健康・未来」を発刊し、講演内容ほかを掲載している。更に、ホームページ上で開催告知や機関誌のアーカイブをPDFファイルにして公開している。機関紙の掲載内容は以下の通り。

◆「ひと・健康・未来」25号(令和2年6月発刊)

- ・ひと・健康・未来シンポジウム2019 熊本
「病気をしない暮らし」への道しるべ
- ・第41回 未来研究会
経口摂取したペプチドの機能性とメカニズム
- ・第42回 未来研究会
確かな腰痛マネジメント手法と健康長寿に向けた施策
- ・コラム:食と農の旅「美食と飽食の国ベルギー」

◆「ひと・健康・未来」26号(令和2年11月発刊)

- ・スペシャルインタビュー
「共同作業で支えるイブラ・ワ・ハイトの活動」
- ・第43回 未来研究会
脳情報から精神・神経疾患に迫る「情報医学」の可能性
- ・令和2年度研究助成採用結果
- ・機関誌のこれまでを振り返って
- ・コラム:食と農の旅「太平洋の島々」

◆「ひと・健康・未来」27号(令和3年3月発刊)

- ・スペシャルインタビュー
「共感、そして正しいことをしていれば、貧しくてもいい人生が送れる」
- ・第44回 未来研究会
地球環境問題のあらたな位相:SDGsとSARS-CoV-2
- ・第45回 未来研究会
宇宙飛行士と宇宙食と災害時の食と
- ・コラム:食と農の旅「モロッコ・チュニジアの旅」

(2)「ひと・健康・未来シンポジウム」の調査研究事業

ひとの健やかでこころ豊かな未来を実現するための調査研究と普及及び啓発事業。
こころ、健康、自然環境の情報の調査研究を行い、普及と啓発を行っている。

(2)―①情報の収集と公開講座の計画

財団役員の科学者を含むプロジェクトにおいて学術情報を収集すると共に他機関の研究者に呼び掛け、知識の普及と啓発を行うためにシンポジウムを計画した。しかし、令和2年度はコロナの感染拡大防止のため、開催せず延期した。次年度以降の新しい開催方法について検討を進める。

(2)―②市民公開講座の開催

年1回は、財団の拠点である京都で市民公開講座「ひと・健康・未来シンポジウム」を開催し、知識の普及と啓発を図っている。参加は自由であり、参加費は無料。令和2年度はコロナの感染拡大防止のため、開催せず延期した。次年度以降の新しい開催方法について検討を進める。

(2)－③成果の公開と出版

市民公開講座の成果をより多くの人々に周知するために、テーマがまとまった段階で発表者の論文等を集め印刷物として出版している。当該市民公開講座は、令和2年度の開催が延期されたため、機関紙やホームページ上での新規掲載は見送ったが、アーカイブはPDFファイルにて公開している。

(3)海外諸団体との連絡協力のための調査研究事業

ひとの健やかでこころ豊かな未来を実現するための調査研究にかかわる海外諸団体との連絡および協力のための事業。こころ、健康、自然環境の調査研究に関する海外諸団体との連絡および協力を進めている。

(3)－①海外諸団体との連絡協力

財団役員の科学者を含むプロジェクトにおいて海外研究者、諸団体との連絡と協力を進め、研究者に呼び掛けて連絡と協力を行い、普及と啓発を行うために国際的な研究者によるフォーラムを計画、開催する。令和2年度は役員から、上記事業に関して、実施できる事業提案がなく、おこなっていない。今後、テーマのあり方について継続して協議を続ける。

(3)－②公開講座の開催

調査研究テーマに関して、数年に1回「国際フォーラム」を開催し、知識の普及と啓発を図る。上記理由にて、令和2年度は実施していない。

(4)共同研究と委託研究

ひとの健やかでこころ豊かな未来を実現するための基礎研究や臨床研究、さらに調査研究などを共同研究や委託研究により進める事業。健全な食生活と予防医学に重点をおいた研究、さらに自然との共生を基本に、こころの健康を目指した研究などを進める研究者と共同研究と委託研究を進める。

(4)－①共同研究と委託事業の推進

財団役員の専門家が上記に関連するテーマについて検討し、本財団の目的に適合する基礎研究や臨床研究を進めている研究者を検討し共同研究または委託研究を行う。令和2年度は役員から、上記事業に関して、実施できる事業提案がなく、おこなっていない。今後、テーマのあり方について継続して協議を続ける。

(4)－②研究成果の公開

上記理由にて、令和2年度は実施していない。

(5)がんの温熱療法の調査と普及促進

ひとの健やかでこころ豊かな未来を実現するための調査研究のひとつとして、がんの温熱療法の普及促進のための調査と広報事業である。令和2年度は役員から、上記事業に関して、実施できる事業提案がなく、おこなっていない。今後テーマのあり方について継続して協議を続ける。

(5)－①情報収集活動

上記理由にて、令和2年度は実施していない。

(5)－②広報活動

上記理由にて、令和2年度は実施していない。

2. ひとの健やかでこころ豊かな未来を実現するための研究に関する助成事業(公2)

(1)「食品」、「環境」、「医学」、「福祉」をテーマとする公募による研究助成

ひとの健やかでこころ豊かな未来を実現するための研究に関する助成事業。

(1)－①研究助成の申請及び選考

上記に関するテーマにおいて、重要な研究であるが科研費等の公的予算がなかなかおられないような研究をサポートしたいと考えている。公募の申請書を元に財団選考委員会が選考する。令和2年度は公募(令和2年4月1日～5月11日)、選考委員会(令和2年6月29日)を実施した。令和2年度の応募総数は470件であった。採用件数17件(食品3件、環境2件、医学9件、福祉3件)、助成金総額は1,605万円。採用結果は以下の通り。

<食 品>採用件数:3件

「人や環境にやさしい新しい抽出分離溶媒の開発－実験の理論予測を目指して－」

大田 昌樹／東北大学大学院環境科学研究科

「加齢による認知機能の低下を改善するための時間栄養学的研究」

大石 勝隆／産業技術総合研究所細胞分子工学研究部門

「時間栄養学を活用したケトン食による筋損傷の治癒促進効果に関する研究」

安倍 知紀／産業技術総合研究所細胞分子工学研究部門

<環 境>採用件数:2件

「環境配慮型技術の歴史的研究

－旧閑谷学校のランドスケープを構成する水利技術について」

向山 徹／岡山県立大学デザイン学部

「ミツバチがうれしい花畑を作る

－ミツバチにとって魅力的な緑肥・グランドカバー植物の探索－」

荻原 麻理／農業・食品産業技術総合研究機構畜産研究部門

<医 学>採用件数:9件

「心不全例における腸内フローラと心不全再入院との関係:

乳酸菌製品の摂取によって再入院を予防できるか？」

阿部 幸雄／大阪市立総合医療センター循環器内科

「間質性肺炎の早期発見に関する研究」

石田 隆行／大阪大学大学院医学系研究科

「味覚神経における新型コロナウイルス受容体の発現および分布の解析」

諏訪部 武／朝日大学歯学部

「高脂肪食誘導性肝がんを発症する新規モデルマウスの確立とその発症メカニズムの解明」

中川 嘉／富山大学和漢医薬学総合研究所

「ロコモティブシンドロームに対して有用効果があると期待される機能性食品、特に白葉茶の研究」

彭 徳子／静岡英和学院大学短期大学部食物栄養学科

「致死性自然毒成分に対する新規臨床検査法の開発」

岡田 光貴／京都橘大学健康科学部

「ウコン属植物ガジュツ—糖代謝改善を基盤とした新たな抗肥満素材としての提案—」

山崎 一諒／兵庫大学健康科学部

「サルコペニア予防効果のある食品成分由来生理活性物質の探索」

上住 円／東京都健康長寿医療センター研究所

「認知機能低下の超早期検出に向けた脳機能評価の開発研究」

植田 智裕／①京都橘大学大学院健康科学研究科

②岡山博愛会病院リハビリテーション科

<福祉>採用件数:3件

「通所型デイケア施設におけるドラムサークルワークショップの開発と、高齢者・介護職員に与える影響の混合研究法による評価」

岡崎 研太郎／名古屋大学大学院医学系研究科

「一次医療機関の重症患者を迅速かつ適切に治療および患者搬送するための、ICTを利用した周産期医療ネットワーク構築～地域医療安全強化と医師の偏在化対策の検証～」

岩永 甲午郎／京都大学医学部附属病院

「介護業界の人材不足解消に資する勤務シフト立案システムの試作と検証」

小野 智司／鹿児島大学学術研究院理工学域

(1)－②研究助成テーマの研究発表会の開催

研究助成を受けた研究者が研究成果の発表を行う。発表会には近隣の食品系、環境系、医学系、福祉系の大学を含めた各大学に招待状を送付し、参加費は無料である。

令和2年度は令和2年11月7日(土)にメルパルク京都で開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染の拡大予防のため、中止とした。研究助成の意義を周知する目的で一般市民を公募により招待し、特別講演会も同日に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡

大予防のため、中止とした。なお、これまでの特別講演の内容は機関誌に掲載されており、ホームページ上で機関誌のアーカイブをPDFファイルにして公開している。次年度までとめて発表、開催方法を検討する。

3. 評議員会及び理事会に関する事項

(1) 令和2年3月16日開催 定例理事会

議事内容	審議結果
令和2年度事業計画案	承認
令和2年度事業収支予算案	承認
令和2年度資金調達及び設備投資の見込み	承認
令和2年度選考委員選出	選出
令和元年度職務執行状況報告	理事長、副理事長より報告

(2) 令和2年5月18日 定例理事会 ※決議・報告の省略による 全員同意(監事異議なし)

議事内容	審議結果
令和元年度事業報告等	承認
令和元年度決算報告	承認
次回評議員会の招集	令和2年6月16日開催決議
令和2年度職務執行状況報告 ※やむを得ず書面にて報告	理事長、副理事長より報告

(3) 令和2年6月9日 定時評議員会 ※決議の省略による 全員同意

議事内容	審議結果
令和元年度事業報告等	理事長による報告
令和元年度決算報告	承認
令和2年度事業計画	理事長による報告
令和2年度事業収支予算	理事長による報告
令和2年度資金調達及び設備投資の見込み	理事長による報告
令和2年度選考委員選任	理事長による報告

(4) 令和3年3月19日開催 定例理事会 ※リモート併用会議による

議事内容	審議結果
令和3年度事業計画案	承認
令和3年度事業収支予算案	承認
令和3年度資金調達及び設備投資の見込み	承認
令和3年度選考委員選出	選出
令和2年度職務執行状況報告	理事長、副理事長より報告

※本年度、新型コロナウイルスの影響により、決議・報告の省略の方法、リモート併用による開催の方法にて実施した。

以上